

ILOアジア地域会合の日本開催について

1 経緯

- 本年秋にバンコクで予定されていた標記会議が、来年4月に延期
- 6月のILO総会の際、ILO事務局から細川厚生労働副大臣に対し日本開催につき打診
- 厚生労働省として、日本開催に応じる方向を固めた

2 会議の概要

- アジア太平洋地域のILO活動に関わる課題を幅広く議論するため、4年に1度開催
- 会期は来年4月の第2週の3.5日程度（サイドイベントを入れて1週間弱）
- 出席者
 - アジア・太平洋、アラブの約40カ国約500人
 - 労働大臣等政府関係者、労働組合、経営者団体
 - ハイレベルパネルには元首級が参加（今回はスリランカ、ヨルダンの首相）
- 内容
 - 全体会合（各国代表からのスピーチ）
 - テーマ別セッション（パネリスト発表及び意見交換）

3 閣僚の出席

冒頭演説（総理）及び全体会議議長（厚生労働大臣 開会式、閉会式）
厚生労働大臣主催の夕食会

4 費用負担

ILO主催だが、夕食会、会場費、運営費等として開催地政府の経費負担が必要。厚生労働省において予算要求中。

5 開催地

本年10月、ILO本部バルシア渉外・会議・文書局長、山本ILOアジア太平洋総局長等が来日し、会場候補（京都・新潟）の視察を行ったところであり、現在ILO本部で最終的な検討を行っているところ。

6 今後の動き

11月の理事会において、開催地及び日程を決定する。

ILOアジア地域会合及びその前後における日本政府主催行事について

1 厚生労働大臣特別セッション

(1) 位置づけ

- 地域会合における日本政府主催のサイドイベント。

(2) 時間等

- 我が国主催の昼食会に続き、1時間半程度のセッションを実施。
- 2日目を予定。

(3) テーマ

- アジア諸国における社会セーフティネットの構築及びそのための国際協力等

2 厚生労働大臣主催夕食会

(1) 位置づけ

- 開催国主催公式夕食会

(2) 参加者

- 各国政労使代表
- 我が国政府代表
- ILO事務局代表

(3) 内容

- 着席式ディナー

3 ILO／日本マルチバイ事業「雇用セーフティネット構築支援事業」ハイレベル会合

(1) 位置づけ

- 失業保険をASEAN諸国に普及することを目的とした事業
- アジア地域会合でASEANの大臣級が来日する機会を捉え、失業保険等の重要性を大臣級にご理解いただくための会合

(2) 日程等

- 地域会合の前日に実施(3時間程度)

(3) 参加者(50人程度)

- AESAN各国政府代表者
- ASEAN事務局代表者
- ILO事務局、厚生労働省